



- \*春の自然を感じ戸外で過ごすことを楽しむ。
- \*りすぐみで生活してみよう。

いよいよ、りすぐみへの進級まで後1ヶ月となりました。りすぐみで遊ばせてもらいながら緩やかな移行が出来れば良いなと思っています。今のところ嫌がることもなくむしろ遊びに行くことを喜んでいます。クレヨンを使ってみたりままごとのカウンターを開け中からお皿を出したりしています。でも一番人気は室内遊具（階段・スロープ・ハンドルがある遊具）です。ひよこぐみで室内滑り台が人気であるように体を動かせる遊びを好んでいます。それだけ全身バランスがとれるまでに成長したということなのでしょうね。

#### <雪遊び>

雪化粧になった17日。「あっ！また雪降ってきた！」と保育士が窓を指差すと子どもたちもしばらく窓の外でちらついていた雪を眺めていました。せっかくなので雪遊びをしようと保育室にシートを敷いてその上で雪遊びをしました。あまりの雪の冷たさに思わず雪に触れた手を引っ込めていた子も繰り返し触っているうちに慣れ雪を押し固めたり喜んで触るようになりました。中には冷たくて遊ばなかった子もいましたが体験して感じることを大切にしていきたいですね。

#### <散歩から>

散歩では犬や花を見に行きました。犬が吠えると子どもたちも「ワンワン！」と真似をしたりじっと見つめていました。また梅の花が咲いていると花の香りを感じキョロキョロしていました。視覚だけでなく聴覚・嗅覚もフル活用しているんですね。

2月中旬早咲きの桜を見てきました。保育士が桜を指差すと花を見上げていました。でも桜の木の下の自動販売機に釘付けの子も…。かわいらしさと同時に食欲旺盛なひよこぐみらしいなと思った瞬間でした。



## りす組

## 今月の目標



- \* 移行に向けて新しい環境に慣れていく
- \* 自分でタオルをたたむ

先月に引き続き、りす組のみんなは、ほぼ毎日描画に取り組んでいます。「絵の具するよ」と言うと、「やったー!!」と喜んで自分から袖を捲くり、イーゼルの前に立ち、準備する姿も見られるようになりました。天気の良い日には、デッキや園庭に出て異年齢児と触れ合いながら、描画を楽しむ日もあります。今お部屋の壁面に、かわいらしいおひな様が飾ってあります。この作品は紙コップにクレヨンで絵を描き、その上からはじき絵のように、絵の具を塗りました。イーゼルの上で、ダイナミックに描くのととは又違い、紙コップに色を塗るのは、少し難しかったようです。でも、子ども達は手を汚しながらも、真剣に丁寧に塗っていました。描画を始めて約一ヶ月経ちましたが、色んな素材に描いたり、場所を変えたり、人と触れ合うことで、子ども達の表情、絵に変化があるように感じます。これからも、色んな環境の下で描画を楽しんでいきたいと思ひます。

(進級に向けて)

りす組での生活も、後少しとなりました。月日が経つのは本当に早いですね。4月には、うさぎ組へ進級します。それに向けて今、りす組のみんなは、グループに分かれ、うさぎ組で半日生活したりと、徐々に移行の準備をしています。又朝の身辺整理も意欲的にするようになりました。自分で出来る事が嬉しく、お家で自分でかばんに持ち物を入れるようになったという子もいます。今色んな事に、自分でする事の喜びを感じる時期なので、その気持ちを大人が受け止め、見守り励まししながら、自立へと導いていきたいと思ひます。

\* お願い\*

お部屋のティッシュがなくなりましたので、一人1箱ずつ御協力をお願いします。





- \*進級への期待を持ちながら、身の回りの事を進んでやろうとする。
- \*気の合う友達と好きな遊びを楽しむ。

\*2月5日の『おゆうぎかい』では、クラス子ども達みんなが出席し元気いっぱい楽しく演じる姿を見ていただけたかと思います。担任の心配をよそに、子どもらしい姿をあの舞台に本番始めて立ち、表すことができたことは、頼もしく思うとともに、可愛らしく、本当に楽しんでいるのだなと感じました。本番に向けて、張り切ってできる子や、ドキドキしてしまう子もいましたが、色々な気持ちを感じながら成長していくと思います。(ひとりひとりの頑張りに、拍手ですね!) 子どもたちには、「おうちのひとは、お客さんの座るところでみんなのこと見てくれるからね!」と伝えてきました。おうちのかたのあたたかい眼差しと、心の中の声援が何よりだったと思います。ありがとうございました。『おゆうぎかい』の取り組みを通して、クラスみんながお互いの姿を見ながら表現し、一つのものを作り上げていく楽しみを感じてくれたのではないかと思います。同じクラスで過ごす時間もわずかとなりました。ひとりひとりの心に残る楽しい思い出になればと思っています。

\*進級にむけて、ピノキオ・トトロ組の子達との関わりを楽しむ姿がみられます。以前から園庭などで遊ぶ機会もあり自然に仲間入りさせてもらうこともあります。「おねえさんと、あそんでもらったよ!」等と、嬉しそうに話してくれます。進級するにあたって、移行期間があります。子ども達の負担にならないように新しい部屋での生活を進めていくわけですが、なるべく自分のできることは、自分でできるように伝えていきたいと思っています。生活のリズムも環境もかわりますので、おうちの方とも連携をとり、園でも十分気をつけ見守っていきたいと思います。ご理解ご協力のほど、よろしくお祈いします。

\*3月から、新しいお友達が一人増えました。





- \* 進級する喜びや、期待感を持って生活する。
- \* 身近な自然にふれて遊ぶなかで春の訪れを感じる。



### 3 歳児

お遊戯会に参加して頂きありがとうございました。お家の人と離れる時は泣いていた子もいましたが楽屋に行くと普段通りに過ごし始め、舞台に出ると緊張する子、人の多さに圧倒される子、いつも通り表現する子と姿は違いましたが泣かずに舞台に出れ一生懸命の姿を見る事ができ嬉しかったです。お家の人にも一つ成長した子どもたちを見ていただけたと思います。

今ゲームコーナーではカルタが人気です。ひらがなを覚えだしている子が多く「やりたい」と参加するようになってきました。男の子は好きな恐竜のカードを狙って今か今かと待ち構えています。字が読めても周りの子のスピードについていけず取れない子には保育士がすこし援助をしています。少し手伝うだけで自分で取れたと自信につながり、次にカルタをする時も意欲的に参加するようになりました。何度もしていくうちにひらがなも覚え自信にもつながっていくので繰り返ししていこうと思います。読み手も自分たちだけでできる日が来るのが楽しみです。

° 新しいお部屋に変わり生活のリズムも変わります。特に変わるのが給食とおやつ時間です。環境が変わって一人ひとりが馴染もうとする事も進級に向けての準備です。これからもみんなで楽しく生活できたらいいなと思います。

### 4 歳児

2月5日のお遊戯会、子どもたちのいろんな姿をみることができました。普段の練習とは違い大きな舞台上で緊張していた子、いつもと変わらず堂々とした表情でいた子などひとりひとりの姿がそれぞれにあり、その子なりに頑張っているのがみていて伝わってきました。お遊戯会までの練習、楽しい！おうちの人にみてもらいたい！という子どもたちの気持ちがある中でも嫌になることもあったと思います。でもあの大きな舞台では、これまでの練習一つ一つの子どもの頑張りがでていたと私は思い、嬉しくなりました。おうちの方にも子どもたち一人ひとりの成長をみて頂くことができたと思います。この子どもたちの成長をこれからの自信にもつなげていけたら嬉しいです。

23日からは進級のための準備として部屋を交換しました。今までの環境や生活リズムとは少し違いますが、新しい環境に不安を感じている様子はなく子どもたちなりに馴染もうとする姿がみられます。コーナー遊びでは新しいおもちゃに喜ぶ姿もあり、自分の好きな遊びを見つけ遊んでいます。年長児が就学前対応で異年齢からぬけてからは年中児と年少児の関わりが多くなったように思います。お部屋の中で一番大きなお兄ちゃん、お姉ちゃんという意識もでてきたのかなと感じました。年中さんで過ごすのも残りわずかですが、進級に向けての意識や期待をもちながら楽しく過ごしていきたいと思っています。



## ピノキオ組

## 今月の目標



- \* 進級することに期待を持ち、園生活を十分に楽しむ。
- \* いろいろな活動に意欲的に取り組み、友達との関わりを深める。

### 3歳児

お遊戯会があり、たくさんのお客さんに驚いたり緊張したりしていましたが、自分達が今まで練習してきたことをおうちの人にみてもらおうと一生懸命セリフをいったり踊ったりととても頑張りました。その姿をみてお遊戯会までの練習では、なかなか劇の動きを覚えられなかったりダンスでは回り方を覚えられなかったりしていてもあきらめることなく何度も練習したことや本番の日が近づいてくることを知ると緊張で踊れなかったりした子もいたことなども思い出しました。お遊戯会後の生活発表では、普段発表していなかった子の中でお遊戯会に参加して大きな自信となり前に出て発表する子も何人かいて子ども達の成長を感じ嬉しく思いました。



先日、園庭でうさぎ組と一緒に運動遊びをしました。年中さんがうさぎ組の子の手を繋いであげてうまく平均台を渡れるようにしてあげたりケンケンパの仕方の見本を見せて教えてあげたりそばで見守っていたりする姿をみて年少さんの子の中にも同じように手を繋いであげたり見守ってあげたりする姿がありました。子ども達のなかにも「もうすぐ年中さんになる!」「大きくなる!」と一つ年上になってお兄ちゃん・お姉ちゃんになるので年下の子に優しくしなくてはという気持ちが芽生えてきたように思います。また、今までたくさん年長さん・年中さんが自分達に優しく手助けしてくれたり教えてくれたりしたことを思い出してそういう姿が見られたのかなと思います。もうすぐしたらうさぎ組さんが移行でお部屋に来て一緒に生活します。運動遊びの時のような優しい姿がいっぱい見られるといいなと思います。



### 4歳児

2月5日にお遊戯会がありました。当日は子どもたちも多くの保護者の前で緊張したと思いますが、どの子もよく頑張ってくれたと思います。緊張で表情が硬くなった子や、照れて恥ずかしそうにする子、ニコニコ演じる子様々でした。そんな当日の姿をそばで見ても、今までやってきた練習が蘇ってくるようでした。年中15名、全員がそれぞれの場で思いっきり、のびのびと演じたことを嬉しく思います。保護者の方からのお遊戯会後のお帳面の返事に、どのお

ちからも温かな感想が書いてあり、私自身感動しました。これも保護者の方のご理解とご協力のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。

お遊戯会後には思い出に残っている場面を絵で表現したり、お遊戯会のことについて発表する時間も作りました。絵を描いた時には子どもたちに「お遊戯会どうだった?」と聞くとどの子も「楽しかった!」という声が返ってきました。画用紙を渡すとその時のことを思い出しながら、思い思いに描いていく子どもたち。紙いっぱい絵でものびのび表現し、なかには1枚の紙だけじゃ足りず紙を付けたして描く子もいました。今でも子どもたちはお遊戯会で踊ったダンスをよく覚えていて、「おどりたい!!」とコーナー遊びのときに踊ったりしています。お遊戯会が終わってもこうやって、引き続いてみんなで楽しく出来るということに嬉しさを感じています。

2月の後半には進級に向けお部屋の交換をしました。今までとは少し違った生活リズムに子どもも大人も馴染もうと生活しています。お部屋の交換も子どもたちには「一つ大きくなるための準備の一つなんだよ」ということを話しています。また、3月の中頃にはうさぎ組の移行が始まり、環境も変わってきます。大きくなることに期待や喜びをともに味わいながら、残り数か月子どもたちと楽しく過ごしていけたらと思っています。

## 今月の目標

### ライオン組



- \*みんなでふれあいながら残り少ない園生活を十分に楽しむ。
- \*自分たちのやりたい遊びを思いきり楽しむ。

子どもたちにとって最後のお遊戯会が2月5日にありました。異年齢児の劇・ダンスでは、それぞれ自分が決めた物を一生懸命に演じたり、又最年長ということで小さい子の手を引いて一緒にセリフを言ったり、横でささやきながら振り付けを教えてあげるといった姿が見られ頼もしい面や成長したなあと思える場面がたくさんありました。

オープニングの「よさこいソーラン」では、毎年年長児が踊っていたので「ライオンになったらやれる」と楽しみにし、自分たちで「お遊戯会でやりたい」と一生懸命に練習してきました。昼からの練習、園庭での練習と細かい部分を何回もやり直したりする中で迎えた本番は、今までの中で一番そろっていてとても上手でした。子どもたちの慣れてた気持ち、楽しんでいる気持ちは見ているお家の人達にも伝わったようでたくさんの感想を頂きました。やりたかったことをみんなで心を1つにして楽しんでやれたということが子どもたちの中ではいい思い出となって残せたのではないかと思います。

深伊沢小学校6年生との交流、牧田保育所との交流もありました。深伊沢小学校との交流では、班での出し物を見せてもらったあとに園庭で一緒に遊びました。「何して遊ぶ」と子どもたちのしたいことを一緒になって何度も楽しんでやってくれていたのも子どもたちは笑顔でいっぱいでした。牧田保育所との最後の交流(5回目)では、巨大オセロやドッチボールをグループ対抗でしたりと、同じ年齢の子が50人以上いるので張り合いがあり思いっきり楽しんでいる姿が見られました。プレゼント交換では毛糸で作ったマスコットを渡すとお礼に牛乳パックを使って編んだマフラーをもらい大喜びでした。年5回ですが会うたびに仲良くなったり、子ども同士で情報を交換したりとい交流ができたと思います。

2月16日より就学前ということで異年齢クラスを離れ、文字書きの練習などを取り入れていきます。集中して取り組むことや書き順、姿勢なども一年生になるまでに身につけておきたいと思っています。又身辺整理、食事のマナーについても見直しをかけています。

